

ペットボトルのリサイクルと出し方

1. ペットボトルとは

ペットボトルはリサイクルの優等生と言われ、単一の素材で作られています。原料は、石油から作られるポリエチレンテレフタレートと呼ばれる樹脂で、英語で **POLY ETHYLENE TEREPHTHALATE** と書くため、その頭文字をとって「**PET** (ペット)」と呼んでいます。

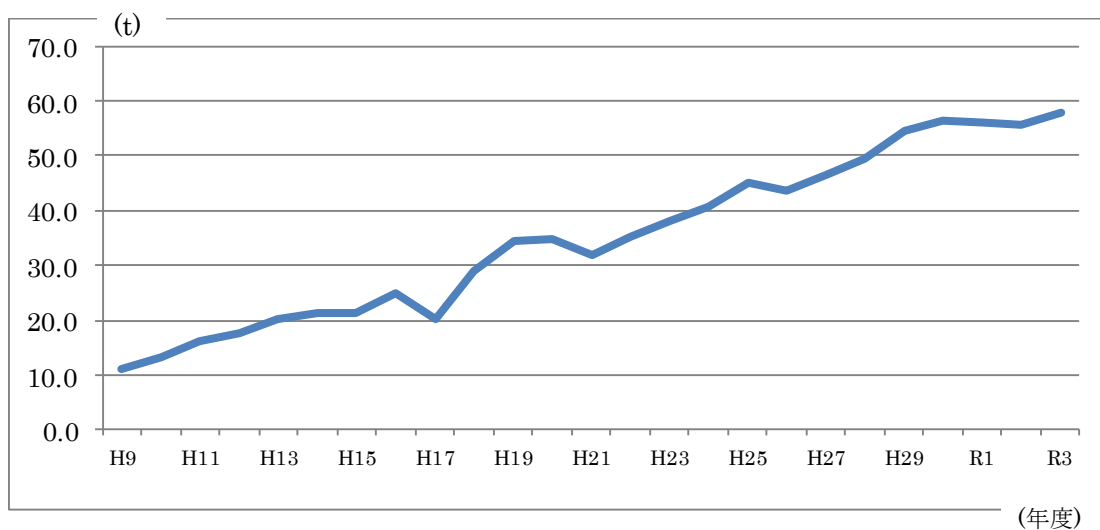


日本では、使用済ペットボトルの約97%が回収され、その全体の約89%がリサイクルされており、海外と比べても非常に高いリサイクル率となっています。

【PET ボトルリサイクル推進協議会 年次報告書 2021】より

2. 久御山町のペットボトル回収量

町では平成9年4月からペットボトルの分別回収を実施しており、令和3年度の回収量(57.8トン)は分別回収当初(11.7トン)の約5倍となっています。



3. ペットボトルのボトル to ボトルリサイクル

令和4年4月から「ボトルtoボトルリサイクル」事業を開始します

城南衛生管理組合とサントリーグループは、ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル」事業を基盤とした「持続可能な地域づくりに関する協定」を締結しました。

現在は、管内住民の皆様から回収したペットボトルのほとんどは、繊維やトレーにリサイクルされ、最終的に不要となったものは焼却処理や埋立処理となっています。

令和4年4月から開始する「ボトルtoボトルリサイクル」事業では、使用済みのペットボトルをペットボトルに繰り返し再生することから、半永久的にペットボトル資源を再生利用することが可能となります。

また、この事業により、化石由来燃料の使用量削減やCO₂排出量の抑制が期待でき、まさに、この地域での持続可能な資源循環型社会形成の推進に寄与することができます。

「ボトルtoボトルリサイクル」には、住民の皆様のご協力が不可欠です。

ご家庭での分別の際に、キャップ、ラベルなどのペットボトル以外の不適物が混入すると、リサイクルの妨げになります。

引き続きペットボトルの正しい分別・排出にご協力をお願いします。

ペットボトルの「ボトルtoボトル」水平リサイクル

令和4年4月より、城南衛生管理組合の管内3市3町で回収されたペットボトルは再びペットボトルに生まれ変わります。




出典:エコネット城南(城南衛生管理組合)



久御山町は SDGS (持続可能な開発目標) を推進しています

4. ペットボトルの出し方



 リサイクルマークが付いた
ペットボトルを出してください



リサイクルマークが付いていない
容器は収集できません

- お茶やジュースなどの飲料の容器
- 醤油やみりんなどの調味料の容器

- × 脂分を含むものや非食品品の容器
- × 食用油や洗剤、シャンプー等の容器



ステップ1…キャップとラベルを取り外す

*取り外したキャップとラベルは「プラマーク製品」に出す

ステップ2…中を軽く洗う

ステップ3…水分を除去するため乾かす

ステップ4…透明もしくは白色半透明袋に入れて出す



収集日は 毎月第1・第3水曜日 (第5水曜日は収集しません)
当日の朝、8時30分までに出してください